

私たちの生活に息づく美術

食卓を彩るうつわのデザイン

① G型しょうゆさし

第1回グッドデザイン賞受賞作品。たれにくい注ぎ口、出す量を調節できる量などの工夫されたデザイン



② 平形めし椀

ちょうど手に持った時に安定するように考えられたデザイン



③ P型コーヒー C&S

P型の持ち手が印象的なコーヒーカップ & ソーサー



④ ユニバーサル多用深皿

スプーンを使った時、きれいにすくい取れて、外にこぼれにくいデザイン



⑤ 森 正洋について



もり まさひろ
森 正洋

[1927-2005年・塩田町]

陶磁器デザイナー

大学卒業後、陶磁器会社に入り、「社会の多くの人のために」「現代の生活に必要な日常の器」をデザインするというデザインポリシーで日常使う器をデザインしました。今でも多くがロングライフ製品として、生産され使われています。

P.152 ファンシーカップ



直筆のラフ画。例えば、めし椀はこのデザインになるまで、何度も何度もラインの幅を見直していたそうです。

日本をつくった建築家・辰野金吾の仕事

⑥ 辰野金吾について



たにやま きんご
辰野 金吾

[1854-1919年・唐津市]

建築家

工部大学校（現在の東京大学工学部）を卒業後、ロンドン大学に留学し、西洋建築を学びます。帰国後は日本国内の多くの洋風建築の設計を手がけ、その第一人者として活躍しました。



日本銀行本店 本館

(東京都)

上から見ると、ある漢字が見える…！？



旧唐津銀行

(佐賀県唐津市)

現在は辰野金吾記念館として使われています。